

《学校教育目標・めざす子ども像》 ～仲間と共に、未来を「そうぞう（想像・創造）」する～

1. 挑戦（すすんで）主体的に何事にも挑戦する子の育成
2. 継続（つづける）生きてはたらく学びを未来へつなげ、成長し続ける子の育成
3. 共生（つながる）他者とのつながりを大切にし、自分らしさを見つける子の育成

《めざす教師像》

- 前例にとらわれず何事にもチャレンジする教師
- 授業力、生活指導力向上に努める教師
- チームで取り組む教師
- 人権感覚を磨く教師



重点

「学校教育目標・めざす子ども像」を実現するための重点目標

9年間を見通した教育の連続性を確保したカリキュラムの編成とマネジメント

確かな学力

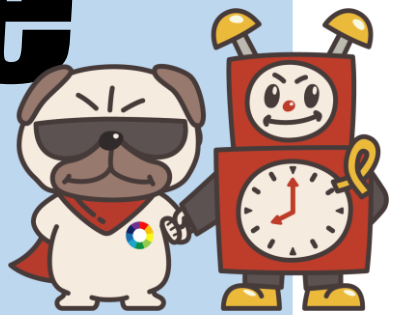
自分らしい生き方を探求する学びの実現

自分らしい生き方

多様な仲間と協働して新たな価値を生み出す創造力

互いを認め合う

Active School Kogane



具体的な取り組み

①4-3-2制を活用した取組み

- ・前・中・後期、それぞれのまとまりごとの指導方針、内容について、研究を深める

②乗入授業の推進

- ・教科担任制の拡充（中学校教員による専科授業、小学校教員による専科授業の実施）

③校内研究の取組み

※R6・7市の研究委嘱

- ・中期(5・6・7年生)の変容の見取り
- ・探究的な学びをねらいとする授業改善

「生きてはたらく本当の学力」
◆子どもが学びを創る授業

④英語教育の充実

- ・外国語の実践を進め、9年間を通じたカリキュラムの改善を図り、小中の接続を強化する
- ・スピーキング力の向上

①未来科の編成・実践

・自分の未来を思い描く

1)効果的な異学年交流の実践

⇒近い未来のそうぞう

2)家族から未来を描く

⇒身近なロールモデルから自分を見つめる

3)出会いから未来を描く

⇒地域の方や企業とコラボ

- ・未来科と各教科等を関連付け教科横断的な教育活動の実施



②人権教育の充実

- ・9年間を通じたカリキュラムの構築
- ・カリキュラムに沿った系統的・計画的な人権教育の実施

③道徳教育の充実

- ・道徳の授業等を通じて豊かな道徳性の育成
- ・自分を見つめる機会をつくる

①支援教育の充実

- ・学校全体で、ともに学びともに育つ支援教育をめざす
- ・合理的配慮の授業づくり
- ・9年間のつながりの中で、障がい観、子ども観、支援観を共有し、指導の充実を図る⇒進路保障
- ・小中間の通級指導教室の連携

②集団作り

- ・「みんな違ってみんないい」を合言葉に認め合う仲間づくりを進める（縦割り活動を中心に）
- ・いじめ・不登校の兆しを見逃さず、子どもが安心して過ごせる学校づくりを進める（いじめの未然防止の意識）

③地域に根ざす学校づくり

- ・PTAや「すこやかネット明治池」をはじめ、子どもと地域の大人との「ナナメの関係づくり」を進める
- ・地域人材の活用



誰ひとり取り残さない、すべての子どもたちに居場所のある学校

「学ぶことをやめたら
教えることをやめなければならない」

ロジェ・ルメール
1998年
サッカー元フランス代表監督

